



選ぶことができる、いくつかの行動や可能性

校長 三木 勝仁

買い物、次の休みの予定など…、「どうしようか」と考え、「決めた!」というとき、選択肢(選ぶことのできる、いくつかの行動や可能性)の中から、「コレ!」と思うものを選んでいきたいと思います。

いくつかの選択肢の中から「コレ!」を選び決めるには、基準が必要です。今号では植村養護教諭が「自分の体調」のために適切な行動を、バイタルチェックを基に選び決める取組を寄稿してくれました。自分の体調を整え、健康を自分で守り維持するために、いくつになっても大切なことです。

そして、この取組で目指している“自己決定力を育てる”ことは、『自分らしく』幸せに生きていくために欠かせないことです。行動することや努力することを自分の基準で選ぶことは、目的の達成の可能性を高め、その結果に責任と誇りを持ちやすくなります。さまざまな場面で「自分はどうしたいのか」と児童が自分自身に問い、自分自身の基準で最適と考える行動や可能性を選ぶ教育活動を、手助けや助言をしながら進めているところです。

どうぞ、お力添えをお願いします。

すばらしい…

友達の消しゴム 「落とし物で届いたって、聞いてませんか? 友達の消しゴムなんだ」校長室に来てくれた2年生が、私にそのように質問しました。ごめん、聞いてない…。

「授業で使った〇〇室を先生と探しに行ったけれど、見つからなかった。」「その後、その部屋を使った人が持っているのかなあ…。」
「聞きに行ってみる!」と走って行きました。
『友達の消しゴム』をそんなふうに見つけてくれるあなたは、その友達のすてきな友達だね。

ころんだ! 朝、玄関の前にいると、「(自分が)ころんだ」、「〇〇ちゃんが、むこうで!」と教えてくれることがあります。

学校から離れたところから息を切らせて来て、教えてくれる人もいます。見に行くと、痛い思いをしている子のまわりに、心配して見守る子が何人も。「痛かったね」「びっくりしたね」と話しながら、児童玄関、そして保健室へ。みんな やさしいね。

リレー連載

〇〇な力を、~にして

【自己決定力】

養護教諭 植村 葵

体調不良で保健室を来室したとき、様々な問診をした後に「あなたは、どうしたい?」と問いかけることがあります。自分の体調の変化や具合などは、やはり自分が一番分かると思います。自分の体と対話をして、体温などの数値的な事実と合わせ、「どうしたらよいか」判断をする。そのときに必要になる力が「自己決定する力」です。

今年度の4月~9月までに保健室に来室した児童数は、合計630名ほどです。そのうち、体調不良での来室は約250名。主訴として頭痛や腹痛、多くは保健室で1時間程度休養することで、その後に教室へ復帰することができています。

来室したらまず、体温を測り、熱があるか・ないかを確認をします。次に朝ごはんの有無や睡眠時間、休みの日や前日の過ごし方など生活習慣について問診をします。自己決定する上で、基本的なデータを根拠にして決められるようにするためにも、体温測定などのバイタルチェックと問診は欠かせません。そして、痛むときには「痛みのスケール」を用います。視覚的な補助と、痛みという伝わりにくいものを数値化することで、伝わりやすくなります。それらを踏まえ、休むのか・教室へ戻るのかを決めていけるようお手伝いをします。発達段階に応じて、決めやすくするために2択から3択の方法を取ることもあります。その時にも「熱はなかったね、顔色も悪くないよ」など状態を言葉にすることで、根拠を基に決定できる(納得できる)ようにしています。

現代はいろいろな情報があふれる社会です。その情報の中からどんな「考えで、理由で、根拠で」正しいと思う情報・自分に合うと思う情報を選び判断するのか、それを決めていく力は、これからの時代を生きていく上で必要不可欠なのではないかと思います。

保健室での対話を通し、児童が「自己決定する力」を育めるようお手伝いをしたいと考えています。

札幌交響楽団フルオーケストラによる演奏鑑賞
よく考える子



文化庁の巡回公演事業として、札幌交響楽団による演奏会が本校体育館において行われ、フルオーケストラの迫力ある演奏に児童・職員、会場にいる全員が酔いしれました。演奏以外にも楽器の紹介や代表児童による指揮者・打楽器体験、校歌を生演奏で歌うという貴重な経験をする事ができました。アンコールの際には万歳をして喜ぶ児童も見られ、最後は「天国と地獄」で軽快な音楽と手拍子で会場が一体感に包まれながら幕を閉じました。終了後は「楽しかった」と満面の笑みを浮かべる児童や感極まり涙を流す児童も見られ、音楽のもつ不思議な力に子どもたちの心は大きく揺さぶられたようでした。このような豊かな感性を育む活動をこれからも大切にしていきたいと思えます。



演奏会后、楽団員の方から、「とても元気なかわいい子どもたちですね」「子どもも先生もみんなで盛り上げてもらってこちら楽しかったです」「また会える日を楽しみにしています」などうれしい言葉掛けをたくさんいただきました。

ダンスの楽しさに触れた出前授業
きたえる子

4年生が出前授業でヒップホップダンスに挑戦しました。プロダンサーのSE-YAさんからヒップホップの歴史や基本的な動き方を教わり、子どもたちは終始笑顔で汗だくになりながら体を動かしていました。ダンスの魅力に触れ、体を動かす楽しさを改めて感じていました。



修学旅行で発揮された「認め合い、支え合う子」
仲よくする子

6年生が、札幌・北広島方面へ修学旅行に行きました。子ども達は様々な施設の見学を通して見聞を広めたり、日頃体験できない学びを深めました。



また、ルールやマナーを意識し、お互いに声を掛け合い、助け合って行動する場面が見られ、自分たちの旅行を自分たちで楽しくしようという意識や行動が立派でした。



旅行後の振り返りで、たくさんの成果とともに挙げられた課題、子どもたち一人一人が直面する課題の解決を通して成長

「成果」

- ・時間や周りを見て行動していた
- ・チームで協力して出来ていた
- ・人の話をちゃんと聞いていた
- ・盛り上げる事が上手くなった
- ・皆を引っ張る人が多くなった

「課題」

- ・もう少し時間に余裕を持って行動。
- ・喋る時と人の話を聞く時をはっきりと。
- ・挨拶などが少ないから多くの人ができるように。

自分にとってどんな修学旅行だったか・感想・今後にかしたいこと など 自分的にはとても楽しくていい修学旅行だと感じました。6年生全員ではなかったけれど、時間をちよくちよく見て行動したり、それぞれの班での協力をしていた所を見て成長したんじゃないかと思えます。

ある児童の修学旅行の振り返り

できるようこれからも支援していきます。

日	曜	10月の行事予定
2	月	交通安全の日 学芸会特別時間割開始(～21日)
3	火	参観日(1・3年) 1年親子レク
4	水	参観日(2・6年) 2年親子レク スクールカウンセラー井上先生来校
5	木	参観日(4・5年) 5年スポーツレク 読み語り(2-1,2-2,4-1)
9	月	スポーツの日
10	火	臨時休業(旭川市教育研究大会のため)
12	木	読み語り(5-1,5-2,6-1)
16	月	諸費引き落とし日
19	木	学芸会総練習(児童公開日)
20	金	学芸会前日準備
21	土	学芸会保護者公開日
23	月	振替休業日
24	火	児童会
26	木	読み語り(1-1,1-2,3-1)
30	月	朝会、読書月間(～11/30)
31	火	クラブ活動

※予定は変わることがあります。学級通信でご確認ください。